

一般国道19号

さくらざわ
桜沢改良

(道路事業)

説明資料

平成28年12月16日

中部地方整備局
飯田国道事務所

目 次

1. 一般国道19号桜沢改良の事業概要	
(1) 事業目的	P 1
(2) 計画概要	P 2
2. 事業の必要性・緊急性に係る検討結果	
(1) 現道の状況(災害危険性等)	P 3
(2) 被災履歴や想定される災害	P 4
(3) 被災した場合の影響	P 5
3. 事業の進捗及び見込みの視点	P 6
4. 県・政令市への意見聴取結果	P 6
5. 対応方針(原案)	P 6

1. 一般国道19号桜沢改良の事業概要

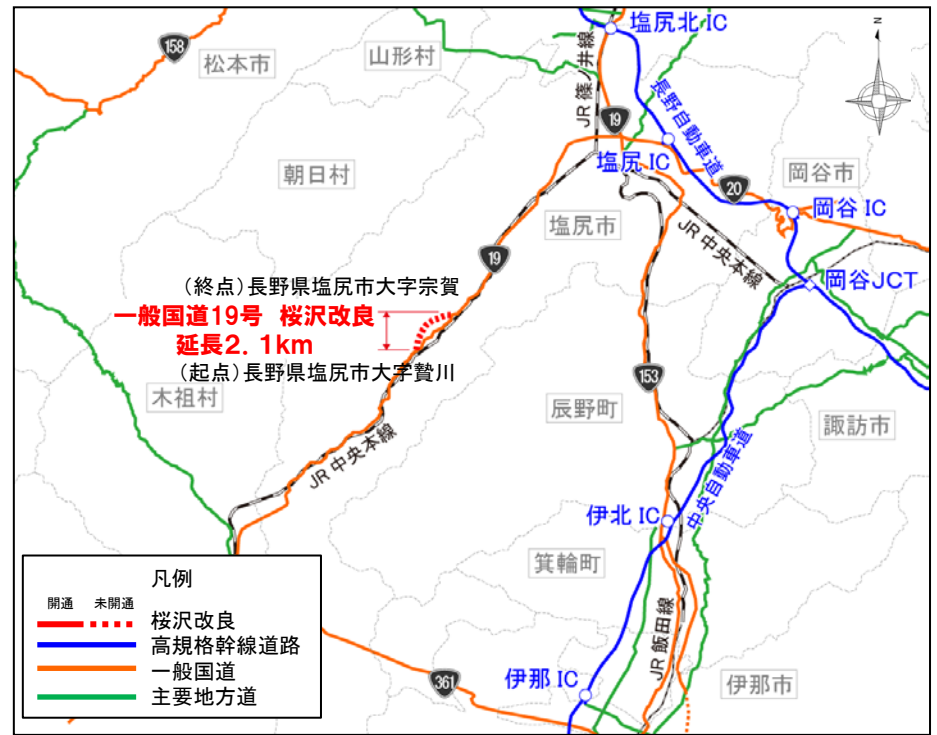
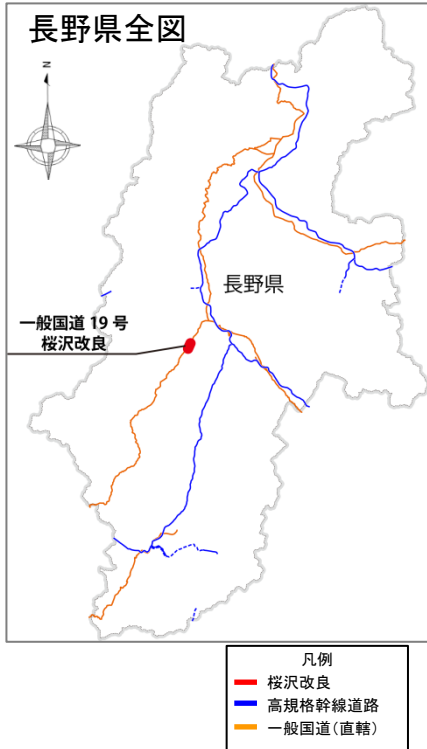
(1) 事業目的

一般国道19号^{さくらざわ}桜沢改良は、^{ながの}長野県^{しおじり}塩尻市^{にえかわ}大字^{ながの}贅川から^{しおじり}長野県^{そうが}塩尻市^{そうが}大字宗賀に至る延長2.1kmのバイパスであり、現道の防災課題箇所の解消を目的に計画された道路です。

現道区間には、防災点検の結果、対策等が必要と判断された箇所(8箇所)や交通事故が多発している線形不良箇所など多くの課題があります。

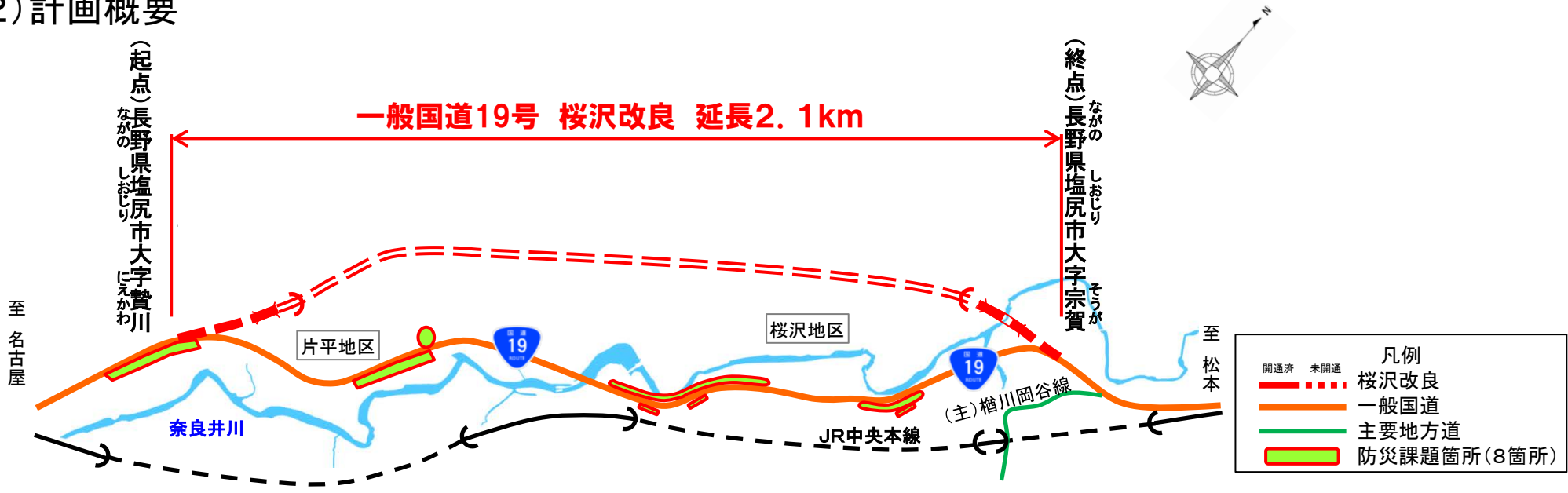
本事業は、課題解決のために別線整備することで、防災課題箇所を回避します。

桜 沢 改 良 の 全 体 位 置 図



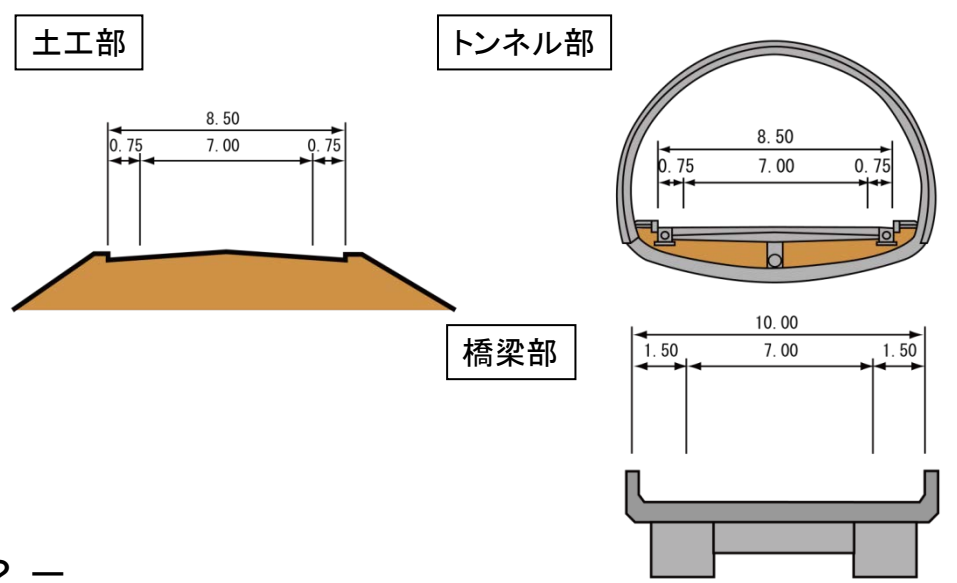
1. 一般国道19号桜沢改良の事業概要

(2) 計画概要



事業名	一般国道19号 桜沢改良
道路規格	第3種第2級
設計速度	60km/h
車線数	2車線
事業化	平成19年度
用地着手年度	平成21年度
工事着手年度	平成24年度
延長(平成27年度末)	2.1km
前回の再評価	平成25年度(指摘事項なし:継続)
全体事業費	90億円(増減なし)

標準断面図

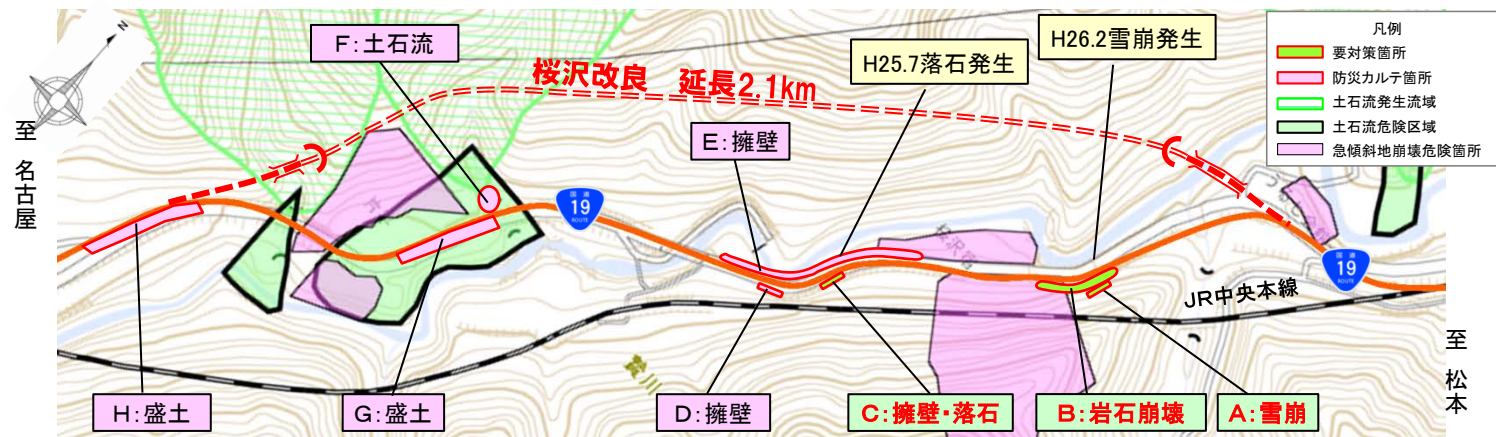


2. 事業の必要性・緊急性に係る検討結果

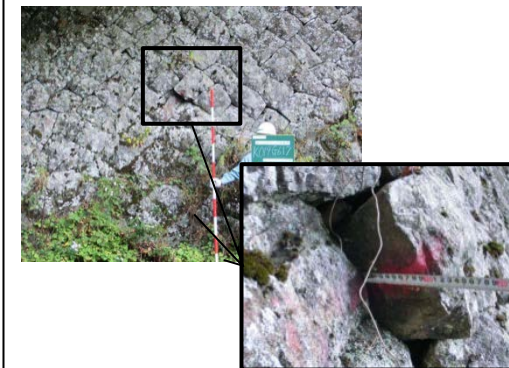
(1) 現道の状況(災害危険性等)

① 防災点検箇所

■当該区間には防災上課題のある箇所として、道路災害に直接結びつく可能性が高い要対策箇所が3箇所、道路災害の危険要因がある防災カルテ箇所が5箇所存在します。過去には雪崩や豪雨による土石流、冠水が発生するなど災害の発生しやすい地域です。

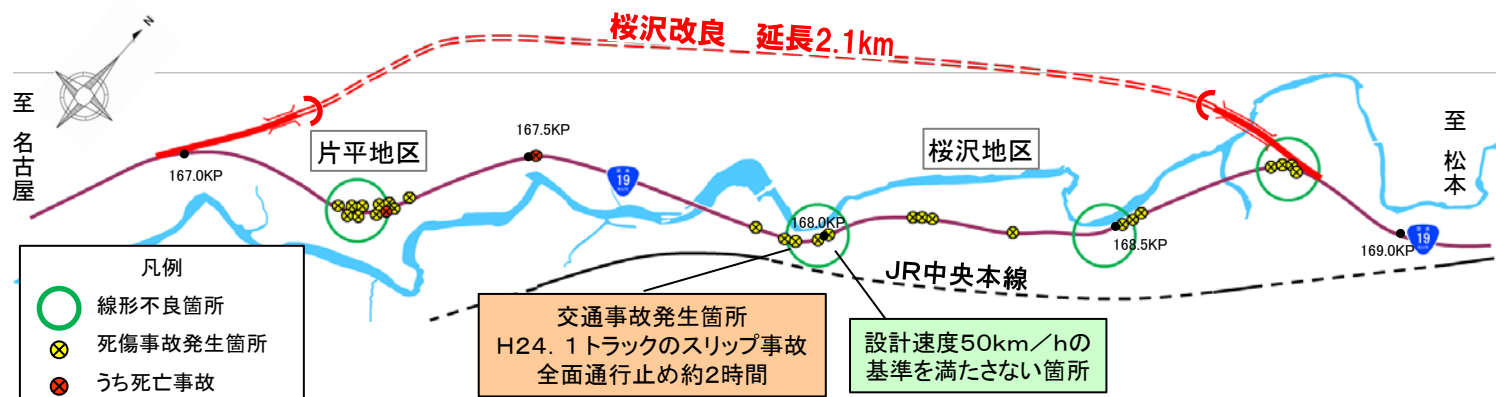


C: 要対策箇所 擁壁・落石



② 線形不良区間での交通事故

■当該区間には、線形不良区間が複数存在し、この線形不良区間周辺での交通事故が多発しています。さらに、設計速度50km/hの基準を満たさない曲線半径80m未満の箇所が1箇所存在しています。



167.9KP付近での事故発生状況



出典: 事故データ: 事故状況図(H14~H26)

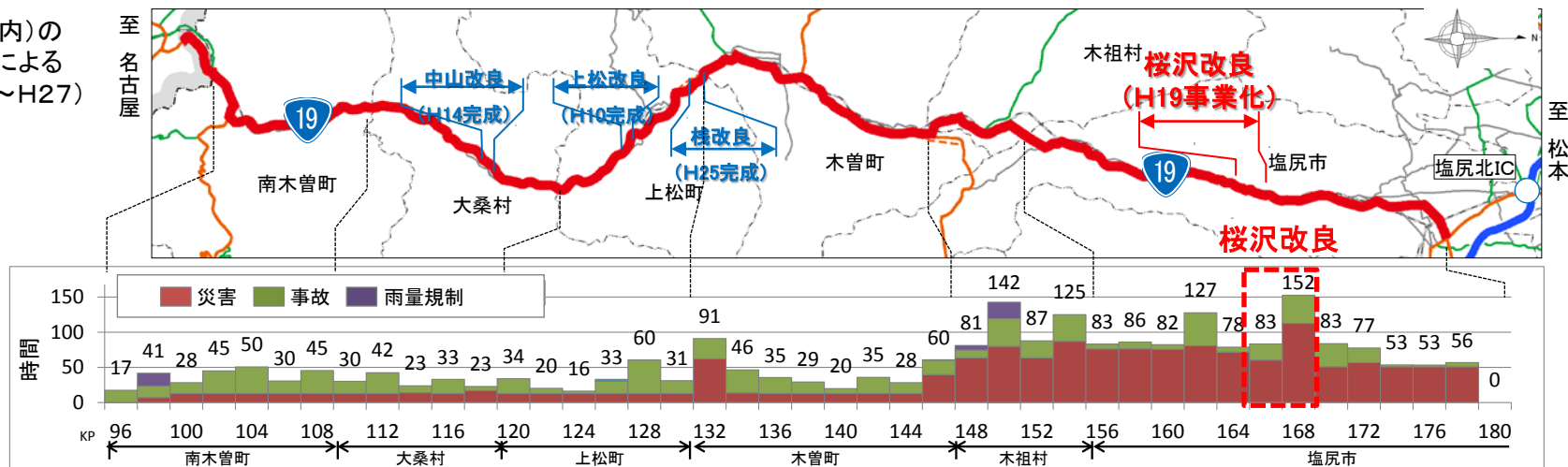
2. 事業の必要性・緊急性に係る検討結果

(2) 被災履歴や想定される災害

① 国道19号の災害・事故等による全面通行止め時間(平成9年～平成27年)

■ 国道19号(飯田国道管内)の災害・事故・雨量規制等による全面通行止め時間をみると、特に木祖村や塩尻市での全面通行止め時間が多い傾向にあります。その中でも、当該区間の全面通行止め時間が最も多く(152時間)、その大半は災害に起因しており早急な対策が求められています。

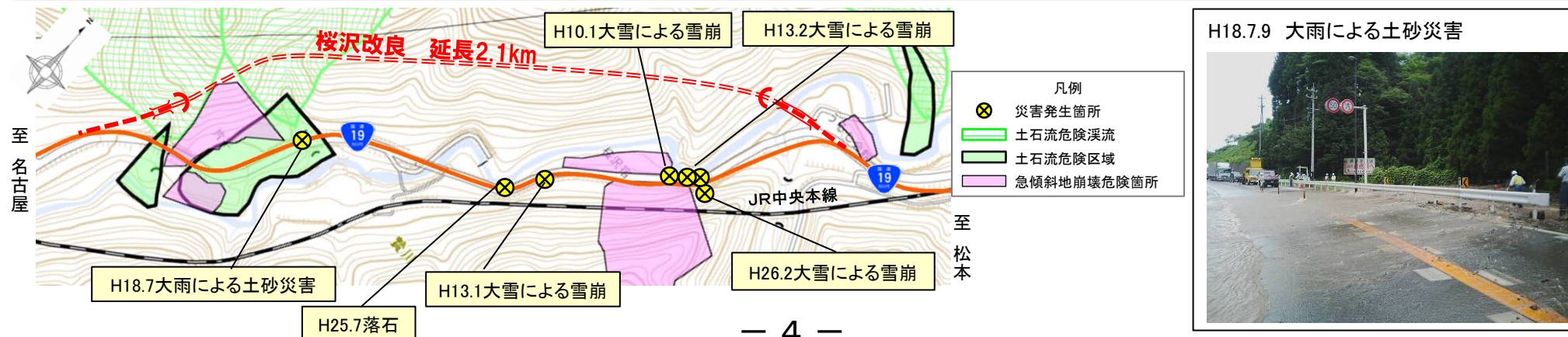
■ 国道19号(飯田国道管内)の災害・事故・雨量規制等による全面通行止め時間(H9～H27)



出典: 事故履歴一覧表
災害履歴一覧表

② 被災履歴

■ 当該区間は、大雨等により土砂の氾濫が予想される土石流危険区域や突然がけ崩れが発生する恐れのある急傾斜地崩壊危険箇所に指定されており、過去には、雪崩や豪雨による土石流、冠水が発生するなど災害が発生し、全面通行止めなどが発生しています。



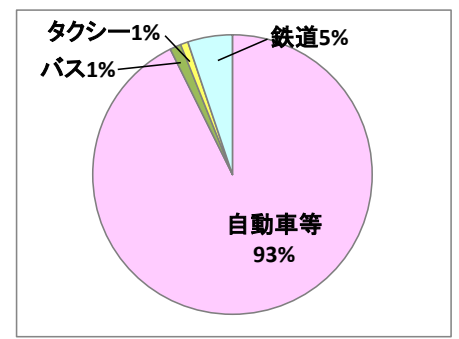
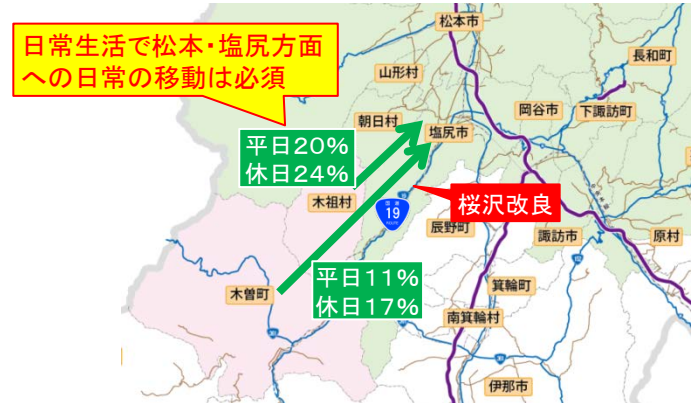
2. 事業の必要性・緊急性に係る検討結果

(3) 被災した場合の影響

① 日常生活への影響

- 木曽地域のうち、木祖村や木曽町の住民の1～2割(約1,800人)が、通勤・通学や買物で松本・塩尻方面へ行動しています。
- 住民の移動手段は、9割が自動車等であり、生活道路となっている国道19号の当該区間の通行止めは、日常生活に支障をきたします。

■木祖村・木曽町住民の松本・塩尻方面への行動割合と移動手段



出典: H22国勢調査およびアンケート調査結果

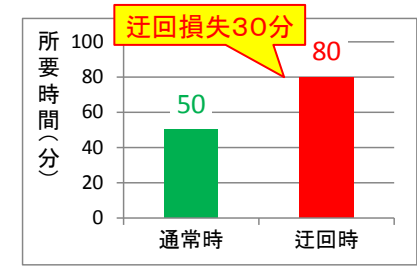
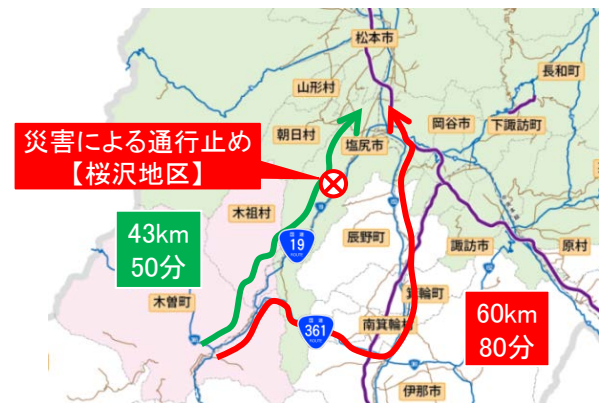
H10.1.15 大雪による雪崩発生状況



② 広域交通への影響

- 当該区間の利用交通約10,000台/日のうち大型車約4割を占め、その半数以上が長野県以外の車両であるなど、当該区間は広域交通の重要な路線です。当該区間にて通行止めが発生した場合、国道361号などへ迂回が必要となり、通行止めによって発生する迂回による損失時間は30分と想定されます。

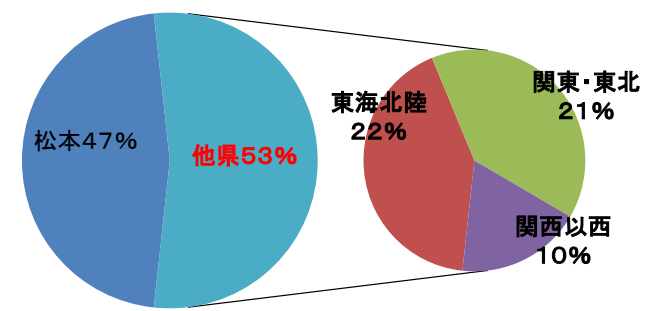
■国道19号(塩尻市桜沢地区)通行止め発生時の迂回ルートと所要時間



凡例
 通常ルート (Green arrow)
 迂回ルート (Red arrow)

出典 ETC2.0プローブ情報 (H27.10平日平均)

■当該区間の大型車の車籍地内訳



出典: 国道19号 車籍地調査結果 (H22.12.1 7時～19時)

3. 事業の進捗及び見込みの視点

1) 事業の進捗状況

- 事業進捗率は**17%**、用地取得率は100%に至っています。(平成27年度末)
- 今年度は塩尻市大字贅川～塩尻市大字宗賀(延長2.1km)のトンネル工等を実施します。
(参考) 前回再評価時 : 事業進捗率は**9%**、用地取得率は100%

2) 事業の進捗の見込み状況

- 塩尻市大字贅川～塩尻市大字宗賀(延長2.1km)は、早期開通に向けて、工事を推進します。

4. 県・政令市への意見聴取結果

■ 長野県の意見

一般国道19号「桜沢改良」は、防災点検における要対策箇所や交通事故が多発している線形不良箇所などの防災課題箇所を回避するために必要不可欠な事業です。

については、事業を継続し、積極的な予算確保により、早期開通を図るよう強く要望します。

また、事業の実施にあたっては、一層のコスト縮減に努められるようお願いします。

5. 対応方針(原案)

- 一般国道19号桜沢改良の事業を継続する。